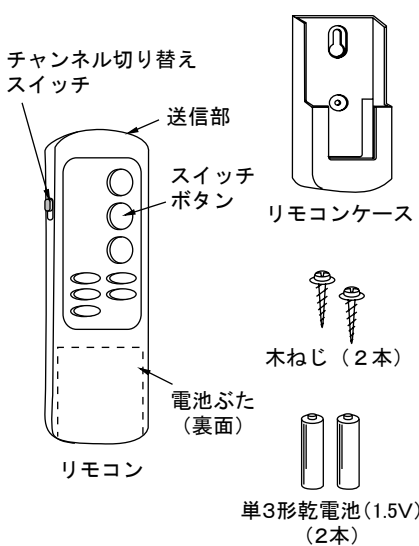


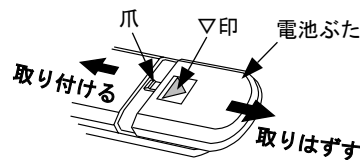
リモコンによる操作方法

各部の名称（リモコン部品）



乾電池の入れかた交換のしかた

- ①リモコン裏面の、電池ぶたの▽印を押しながら電池ぶたをずらして取りはずしてください。
 - ②付属の単3形乾電池を⊕ ⊖の表示に合わせて入れてください。
 - ③リモコンに電池ぶたをかぶせて▽印を押しながらリモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付けてください。
- * リモコンの平均電池寿命は、1日10回の使用で約1年間使用可能です。



! 長期間使用しない場合は、乾電池を取りはずしておく。
* 液もれによるリモコンの故障の原因となります。

注意

- ・種類の異なる乾電池（例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池）また、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。
- ・充電式電池は使用しない。
- ・使えなくなった乾電池は可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。
- * 乾電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の原因となります。

リモコンケースの使いかた

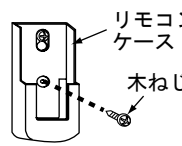
- リモコンをなくさないように、置き場所として壁などにリモコンケースを取り付けてご使用ください。



- リモコンは、リモコンケースから取り出し、器具に向けて操作してください。
- リモコンケースの取り付け場所は、部屋の出入り口付近が便利です。

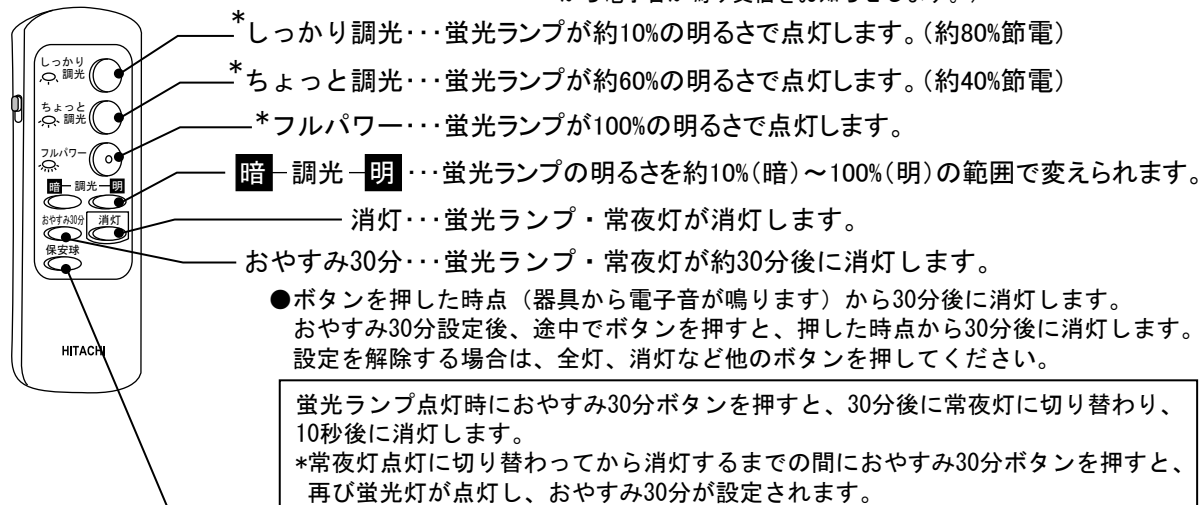
取り付けかた

- リモコンケースの位置を決め、付属の木ねじ2本でしっかり取り付けてください。



点灯確認

- スイッチボタンを押して点灯確認をしてください。（スイッチボタンを押してリモコンからの赤外線が本体に入りますと、本体から電子音が鳴り受信をお知らせします。）



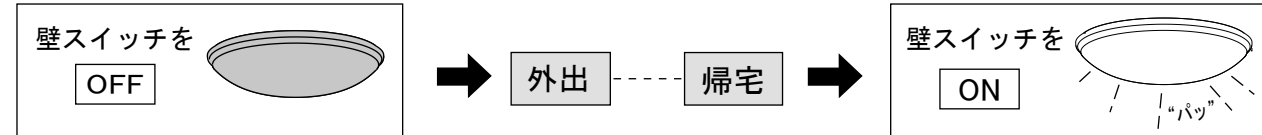
このようなことにもご注意を

- リモコンと器具の間にしゃへい物があると、器具が動作しない場合がありますので、しゃへい物を避けて操作してください。
- ランプ点灯直後、リモコンで切り替えができない場合があります。この場合、しばらくしてから切り替え操作を行ってください。
- 室温が低い時に**しっかり調光**（約10%の明るさ）で点灯させた場合には、約40%の明るさで点灯し、しばらくしてから**しっかり調光**（約10%の明るさ）になります。
- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所での使用は、変形や故障の原因となりますのでおやめください。
- リモコンを落としたり、衝撃をあたえたりしないでください。また、水にぬらしたり、温度が高くなるところに置いたりしないでください。操作不良の原因となります。

壁スイッチによる操作方法

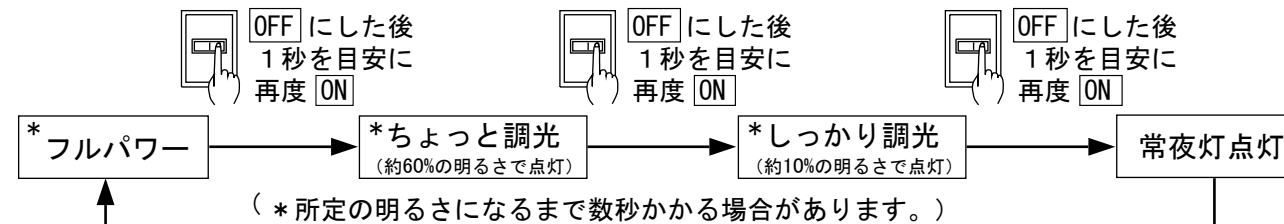
壁スイッチでも次のような点滅操作ができます。

- 壁スイッチを[OFF]にした後、再度壁スイッチを[ON]にしますと、消灯前の点灯モードになります。

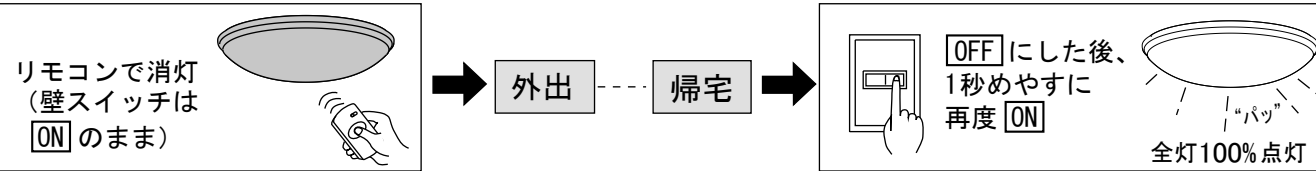


- 壁スイッチを操作することで次の点灯モードに切り替えることができます。

* 壁スイッチの操作はゆっくり「1秒めやす」でおこなってください。



このような使いかたが便利です



—ご注意—

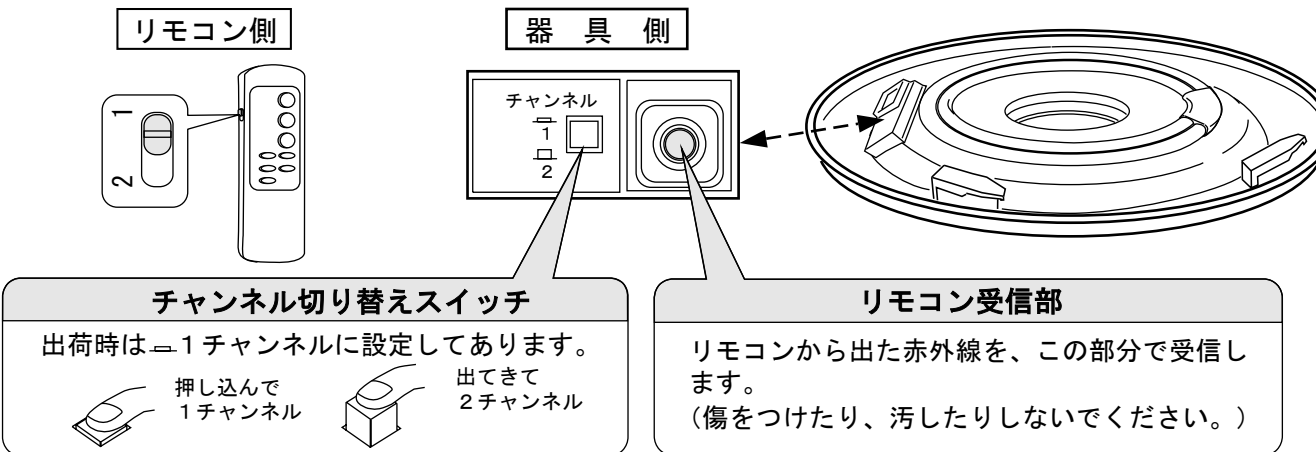
壁スイッチの[OFF]→[ON]の切り替え時間検知し、次の点灯モードへ進める方式を採用しております。検知する切り替え時間は、0.5秒～2秒としておりますが、**壁スイッチ操作の際は約1秒をめやす**として操作してください。0.5秒以下や2秒以上の場合は検知しないので点灯モードの切り替えはできません。このような場合は、約1秒間隔で[OFF]→[ON]操作をもう一度おこなってください。

チャンネル切り替えスイッチの設定について

- お部屋で使用される台数に応じ、次のようにチャンネルを設定してください。

室内のリモコン照明器具が1台の場合

製品出荷時は、1チャンネルに設定してありますが、確認のうえ、器具側及びリモコン側のチャンネル切り替えスイッチを1チャンネルに合わせてください。



室内のリモコン照明器具が2台の場合

器具側とリモコン側のチャンネル切り替えスイッチを右図のように設定することにより、個別操作や同時操作ができます。また、リモコンは、他の日立リモコン照明器具と一部互換性があるため、一緒に使用する場合はチャンネル切り替えスイッチを右図同様に設定してください。

	個 別 操 作		同 時 操 作	
	1 台 目	2 台 目	1 台 目	2 台 目
器具側	1	2	1	1
リモコン側	2 1	2 1	2 1	2 1